

マイコプラズマ感染症



Q) 「マイコプラズマ」とは何ですか？

- A) 「マイコプラズマ」とは、医学上の専門用語では「**マイコプラズマ・ニューモニアエ**」という名称の微生物であり、バクテリアより小さく、ウィルスより大きく、細菌にもウィルスにもない特性を持っています。

「**マイコプラズマ感染症**」は、1984年と1988年に大流行したこともあり、4年おきに流行する「**オリンピック熱**」とも呼ばれており、4年サイクルの傾向があることが知られていますが、**現在は、夏季オリンピックが開催される年度などを問わず1年を通じてみられ、秋から春先にかけて流行し始め、冬にやや増加する傾向があります。**

親密な病魔でありながら、普段活用されるペニシリン系やセフェム系の抗生剤が効かないために、うっかり見過ごすといつまで経っても治らないばかりでなく、**入院が必要になることもあります。**



Q) 「マイコプラズマ肺炎」とはどういう症状ですか？

- A) 「**マイコプラズマ肺炎**」とは、「**マイコプラズマ**」という病原体が肺に感染することによって起こる**呼吸器感染症**です。マイコプラズマ肺炎に代表される肺炎は、「**異型肺炎＝普通とは違う肺炎**」とも呼ばれます。その理由は、重症で入院が必要となる他の細菌性肺炎の場合とは違って、レントゲン上の派手な肺炎の影の割には、全身状態がそんなに悪くないことが多いからです。従って、場合によっては、外来通院で治療可能な場合もあります。

※好発年齢…**幼時から成人まで幅広い年齢層で罹りますが、特に、学童期、青年期によくみられます。**幼児では、肺炎にまで進むことは少なく、風邪の症状くらいで治ることが多かったのですが、**最近は、幼児でも肺炎がみられるようになってきました。**一度罹っても十分な免疫ができないため、何回も罹ることがあります。



Q) 具体的にはどのような症状ですか？

A) 発熱や全身倦怠感（だるさ）、頭痛、頑固な咳などの症状がみられます。

咳は、少し遅れて始まることもあります。熱が下がった後も乾いた咳がしつこく長期にわたって（3～4週間）続くのが特徴です。

病初期には、乾いた咳ですが、次第に湿った痰のからむ咳に変わり、夜間にひどくなる頑固な咳が長く続きます。肺炎を起こすことがあり、気管支喘息の方は、発作を誘発して胸がゼイゼイすることがあります。

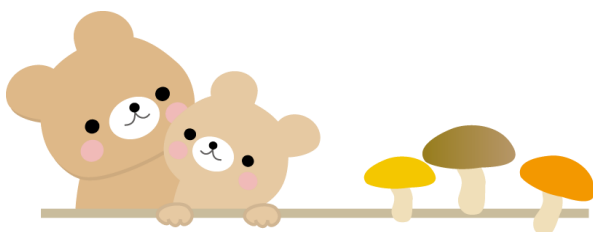
細菌性肺炎は、小さい子供が罹るほど重症になりますが、マイコプラズマの場合、不思議なことに、乳幼児は罹っても肺炎にならずに風邪で終わることが多く、年長児の方が肺炎になりやすいといわれています。多くの人は、マイコプラズマに感染しても気管支炎ですみ、軽い症状が続きますが、一部の人、特に、体力の弱い小児や高齢者、合併症のある人などは重症化することもありますので注意が必要です。



Q) 感染経路・潜伏期間は怎么样了か？

A) ①感染経路…咳やくしゃみ、会話などによって空気中に飛び散った病原体を多くの方が吸入することにより感染する「**飛沫感染**」と、患者と身近で接触することにより感染する「**接触感染**」があります。幼稚園や小学校、家庭内で流行するケースが多くみられます。

②潜伏期間…「潜伏期間」とは、「細菌が体内に侵入してからマイコプラズマ肺炎の症状を発症するまでの期間」のことであり、一般的に2～3週間程度です。長いケースでは、1ヶ月程度の潜伏期間を経て症状を発症し始めるケースもあります。なお、この潜伏期間中は、第三者への二次感染を起こす期間ですので注意が必要です。マイコプラズマ肺炎がそれほど強い感染力を持たないにも関わらず、地域ごとに流行するのは、この潜伏期間の長さが関与しています。



Q) どのような治療法ですか？

A) 一般的には、**マイコプラズマに効く抗菌薬（抗生剤）、鎮咳薬の投与が行われます。**
発熱、頭痛に対しては、**鎮痛解熱剤**を投与することもあります。ひどい場合は、**点滴**をすることもあります。

全身状態が不良の場合、すなわち、**高熱で水分がとれず、脱水状態になっている時や、咳が激しくて睡眠や食事が著しく妨げられる場合は、一週間前後の入院が必要**となります。



Q) 予防策はどうすればいいですか？

- A) ①感染経路は、風邪やインフルエンザと同じですので、**普段から「手洗い」、「うがい」を心掛けて下さい。**
②患者の咳から感染するため、**咳の症状がある人は、必ず「マスク」を着用（「咳エチケット」）して下さい。**
③**流行期には、人込みはできるだけ避けて下さい。**
④**頑固な咳が続く時は、早めに受診して下さい。**

※ 「**マイコプラズマ肺炎！**」本当に油断できませんね…。これから寒い冬を迎え、「**マイコプラズマ感染症**」のピークを迎えることとなります。

皆さん（特に子供さん）、普段から**上記予防策を徹底し、この寒さを元気に乗り切りましょう！！**

